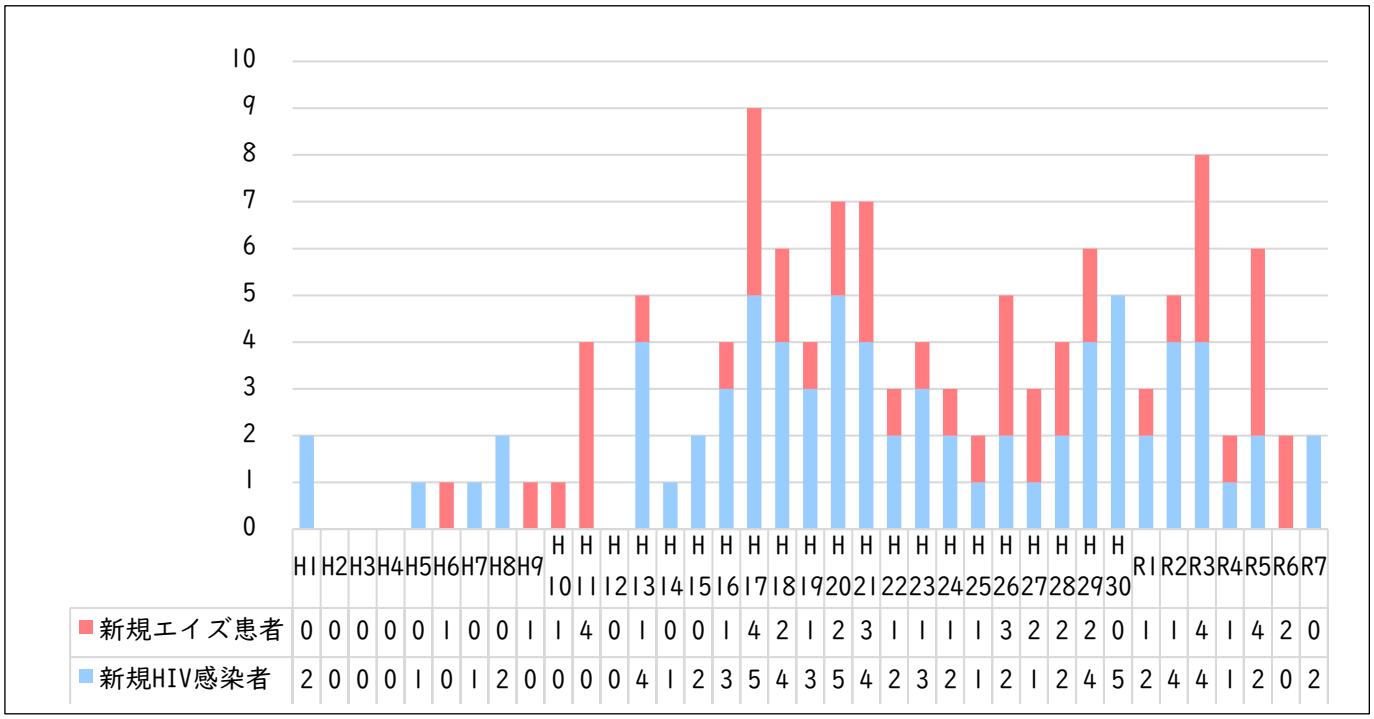
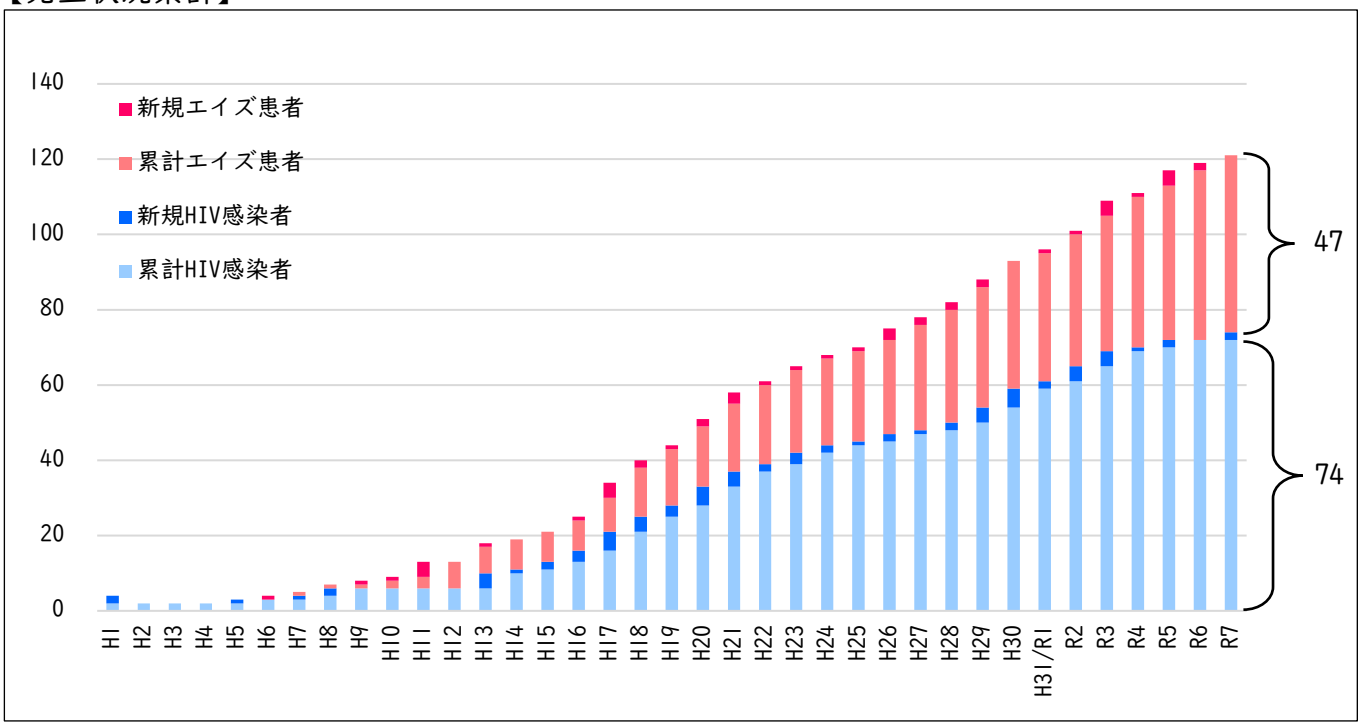
別紙１

青森県における感染症法に基づくＨＩＶ感染者・エイズ患者届出数

１　ＨＩＶ感染者・エイズ患者報告数の年次推移



【発生状況累計】

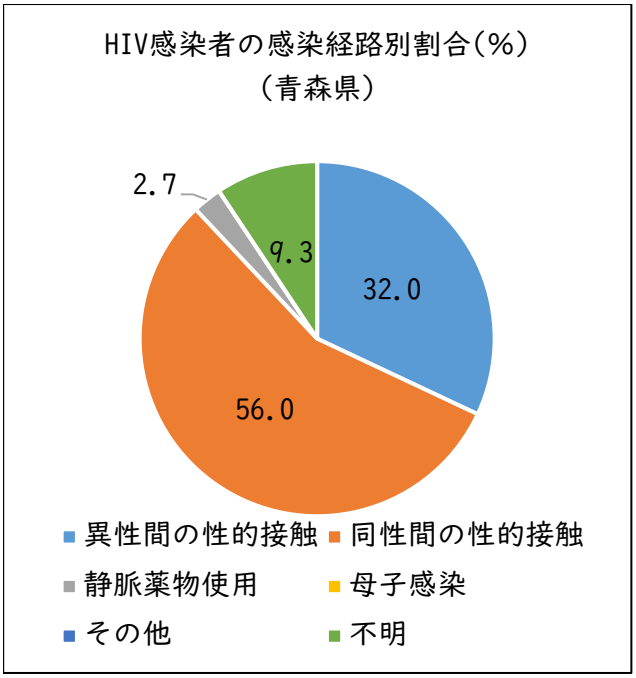


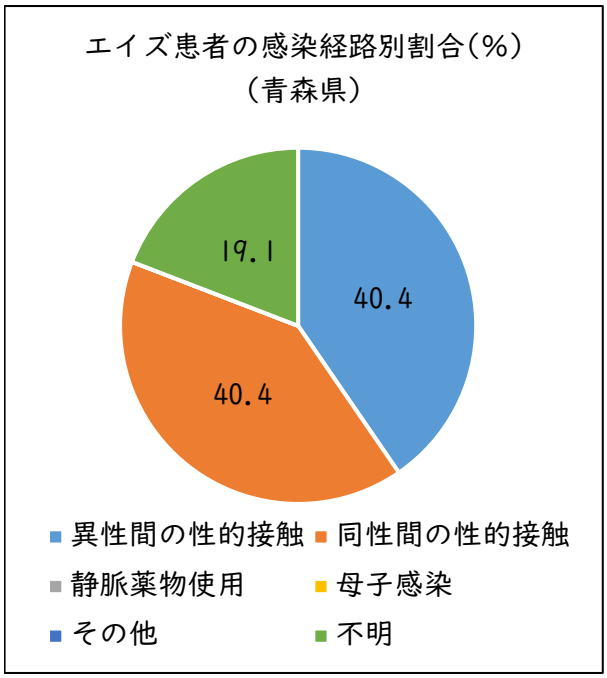
○県内の令和７年の新規報告数は、ＨＩＶ感染者が２件、
　累積報告数は、ＨＩＶ感染者が 74 件、エイズ患者が 47 件の合計 121 件。

2　性別・感染経路別ＨＩＶ感染者・エイズ患者（令和７年までの累計）

診断区分	感染経路	男	女	計
ＨＩＶ感染者	異性間の性的接触	21(1)	4(0)	25(1)
	同性間の性的接触	42(1)	0(0)	42(1)
	静注薬物使用	1(0)	0(0)	1(0)
	母子感染	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)
	不明	6(0)	0(0)	6(0)
	合計	70(2)	4(0)	74(2)
エイズ患者	異性間の性的接触	16(1)	2(0)	18(1)
	同性間の性的接触	19(1)	0(0)	19(1)
	静注薬物使用	1(0)	0(0)	1(0)
	母子感染	0(0)	0(0)	0(0)
	その他	1(0)	0(0)	1(0)
	不明	7(0)	1(0)	8(0)
	合計	44(2)	3(0)	47(2)
ＨＩＶ感染者+エイズ患者　合計		114(4)	7(0)	121(4)

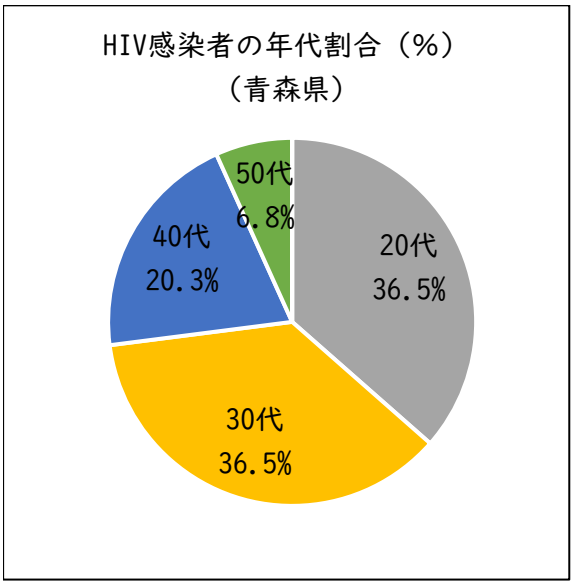
（　）内は外国人再掲

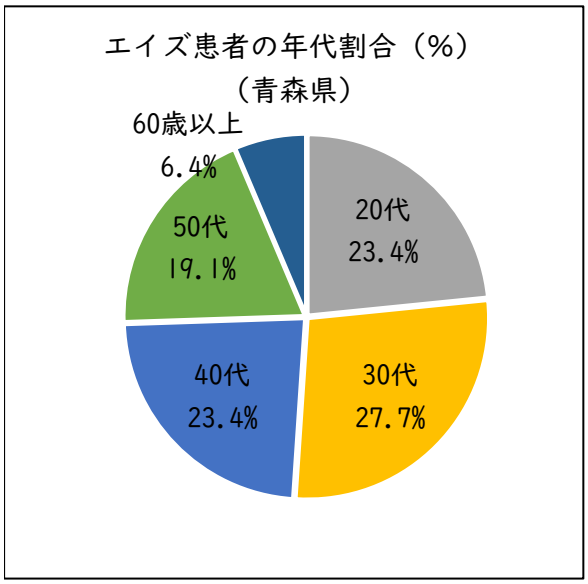




○県内の報告例を感染経路別にみると、ＨＩＶ感染者は同性間性的接触が 56.0%と最も多く、エイズ患者は、異性間の性的接触及び同性間性的接触が 40.4%と同程度であった。

３　ＨＩＶ感染者・エイズ患者の年代割合（報告時点）（平成元年～令和７年累計）





〇ＨＩＶ感染者の報告は、20～40 歳代が多く、全体の 93.3%を占めている。
〇エイズ患者の報告は、20 歳以上に幅広く分布している。